

2023年度 事業計画

社会福祉法人 和生福会

1. 2023年度 事業計画の概要

- 経営
 - 稼働率の維持、改善
 - 入所系サービスは98%、通所系は91.5%を必達目標とする。
 - 居宅系サービスは、ケアマネジャー3人で要介護月90件の契約、要支援の方の契約も積極的に受け入れ45件をそれぞれ目標とする。
 - 地域連携の強化とスムーズな入退所の仕組みを構築する。
 - 経営分析と戦略策定
 - 「和生福会の社会的責任」を意識する。
 - 新しいサービス開発と既存サービス育成の2つの視点を持つ。
 - 分析・企画・促進などマーケティングに関する人材を開発し、チーム結成する。
 - 分析 3つの領域(和生福会、競合施設、消費者)を行い整理する。
 - 企画 トップダウン・ボトムアップの要素をバランスよく組み込む。
 - 促進 表現や媒体を工夫し、消費者の志向を喚起する。
 - 過程をPDCAサイクルにより把握し、柔軟に基本戦略の修正を行う。
 - 最終目標は和生福会ブランドの確立とする。
 - 毎月の収支を即時把握し、目標達成のため活用していく。
 - 稼働や支出状況の改善策を検討し実行する。
 - 法人、グループ内での連携強化
 - 相互に連携、協力体制をもち、ノウハウなどの利点を最大限に生かす。
 - 勉強会、技術交流や情報共有の実施
 - 地域貢献活動の充実
 - 地域の環境美化活動等に法人として参加し、地域住民と積極的に交流し、地域行事への参加、法人行事への参加を互いに促す。
 - 事業所、法人として地域に根差した福祉サービスの提供を継続していく。
- サービスの質
 - 人材不足等によりサービス量が減少しても、生産性を高め、効率よく業務遂行できるよ

うな業務改善手法の構築をする。

- 災害・非常事態等でも安定したサービスを提供するためのBCPを策定をする。
- 人材育成、職場環境の整備
 - 職員の能力を見極め、その能力に応じた積極的な人材開発投資
 - 虐待防止等、コンプライアンス遵守のためのシステム構築
 - 個人の知識、スキル、経験を暗黙知にとどめるのではなく、共有できる文化形成
 - 職員満足度調査による問題顕在化と、それに基づく施策の実施
 - 業務継続困難な職員の個別支援による職員多様化の促進
 - 介護福祉をとりまく激しい環境変化に対応できるよう
 - 現場の意思決定(考え、判断し、実行する)促進のため、現場へ責任と権限の委譲
 - 組織／地域レベルでの思考の習慣化(主に役職者)
- 新型コロナウイルスへの対応
 - 5類移行後も考慮した、BCP(事業継続計画)の定期的な見直し
 - 感染防止策のルール、マニュアル等の周知、更新
 - 適切な個人防護具、手指衛生等の実施
 - 定期的な設備環境の清掃、消毒

2. 運営目標(稼働率、利用者数)

高齢者事業

- 特養(稼働率) *2022年度:2023年3月の見込値を含む

事業所名	2022年度*	2023年度 目標
緑風苑 (入所)【100名】 (ショート)【20名】	100.0% 77.0%	100.0%(±0%) 90.0%(+13%)

- 通所介護(稼働率) *2022年度:2023年3月の見込値を含む

事業所名	2022年度*	2023年度 目標
平成デイサービスセンター海南【22名】	88.8%	91.5%(+2.7%)

- 居宅(ケアプラン数) *2022年度:2023年3月の見込値を含む

事業所名	2022年度*	2023年度 目標
緑風苑居宅介護事業所(要介護) (要支援)	786件 449件	1,080件(+408件) 540件(+91件)

2023年 3月31日

2023年度 事業計画

社会福祉法人 和生福会

対象事業所

高齢者事業

緑風苑(特養)【定員:入所-100名 ショート-20名】

平成デイサービスセンター海南(通所介護)【定員:22名】

緑風苑居宅介護支援事業所(居宅)

高齢者事業

緑風苑(特養)【定員:入所-100名 ショート-20名】

- 主な指標

*2022年度:2023年3月の見込値を含む

- 入所

	2022年度*	2023年度 目標
稼働率	100.0%	100.0%(±0%)
平均要介護度	3.7	3.8(+0.1)
単価(人・日)	14,027円	14,292円(+265円)

- ショート

	2022年度*	2023年度 目標
稼働率	77.0%	90.0%(+13%)
平均要介護度	3.3	3.3(±0)
単価(人・日)	14,245円	14,488円(+243円)

- 実現するための取り組み

- 稼働率

- 入所・短期入所の連携と、現場との共通意識をもつ。
- 入院先との調整、地域連携室・居宅とのこまめな情報共有。
- 短期入所希望登録人数を増やすため、問い合わせには早めの対応を行う。
- より積極的な広報活動を行う。

- 平均要介護度

- 利用者と家族の要望に応じ、介護度の区別なく受け入れをする。
- 利用者の状態変化を適切に評価し要介護度の見直しを行う。

- 加算について

- 日常生活継続支援加算の継続算定
- 栄養マネジメント強化加算の継続算定
- 褥瘡マネジメント加算の継続算定
- 排せつ支援加算の算定
- 安全対策体制加算の継続算定
- LIFEを活用した加算の継続算定

- 収集した情報をLIFEで分析それを基にサービス改善。これを繰り返すことで更なる改善を図る。今年度は3年目で本格的な活用を進める。

- その他取り組み
 - 看護師及び認定特定行為業務従事者が中心となるチームで、医療依存度が高い利用者も受け入れていく。
 - 利用者・家族・地域のニーズを受け、看取り期の方も安心して過ごして頂けるようにする。
 - 利用者の身体状態に合わせた福祉用具の選定・購入。

平成デイサービスセンター海南(通所介護)【定員:22名】

- 主な指標 *2022年度:2023年3月の見込値を含む

	2022年度*	2023年度 目標
稼働率	88.8%	91.5%(+2.7%)
平均要介護度	2.2	2.2(±0)
単価(人・日)	9,420円	9,520円(+100円)

- 実現するための取り組み
 - 稼働率
 - 利用者のキャンセルを想定した曜日ごとの登録人数の確保
 - 居宅ケアマネへの毎月のアプローチの工夫
 - 毎月体験利用者を獲得することで新規利用に繋げる。
 - 加算について
 - 個別機能訓練加算 I 算定
 - 科学的介護推進体制加算算定
 - ADL維持等加算 I 算定
 - サービス提供強化加算 I 算定

緑風苑居宅介護支援事業所(居宅)

- 主な指標 *2022年度:2023年3月の見込値を含む

	2022年度*	2023年度 目標
ケアプラン数(要介護) (要支援)	768件 435件	1,080件(+312件) 540件(+105件)
平均要介護度	2.5	2.5(±0)
単価(人・月)	11,616円	11,821円(205円)

- 実現するための取り組み

- 担当件数
 - ケアマネ3人で、担当件数(ケアプラン件数)90件/月プラス介護予防を目標とし、安定した運営が図れるようにする。
- 加算について
 - 特定事業所加算Ⅲ算定
- 研修
 - 介護支援専門員として質の向上が図れるよう、積極的に研修に参加する。
- 関係機関との連携
 - 地域包括支援センターや医療機関との連携を強化する。
 - 困難ケースの受入も図る。